

3A (ありがとう、あいさつ、当たり前のことを当たり前に行える赤学年)

令和5年4月19日発行 第1学年 学年通信 NO.3

新しいことがたくさん…

こんにちは。中学校に入学してもうすぐ2週間が経とうとしていますが、中学校生活には慣れましたか？来月には校外学習（遠足）もあります。学級活動や学校行事などを通じて、さらにクラスや学年の友達と交流を深めましょう。新しい出会いや友を大切に作る人になってほしいと思います。

さて、先週から仮入部が始まりました。入りたい部活動や、やってみたい部活動は見つかりましたか？各部活動によって方針などが異なります。仮入部で様々な部活動に行ってみて、3年間続けられる部活動に入ることが一番大切です。あせらず決めましょう。今回の学年通信では、部活動を決める上で大切なポイントをいくつかお伝えします。部活動選びの参考にさせていただければと思います。頑張れ！赤学年¹

① 活動内容の詳細

活動は週にどのくらいか、テスト期間や夏休み・冬休み・春休みなどの活動はどうかなど、各部活動によって異なります。しっかりと確認しておきましょう。また、部活は多かれ少なかれお金がかかるものなので、必要な道具も聞いておけるといいでしょう（部活動によって指定の物などがあります）

② 先輩や同級生のレベル

特に運動部で多いのが、自分以外がほとんど経験者だったり、練習内容がかなりハードだったりということです。しかし、「それもがんばって乗り越える！」と思うくらいの気持ちで取り組んでほしいと思います。先輩も最初は同じ気持ちだったと思います。ただし、「自分のペースでゆっくり基礎を身につけていきたい」とか「皆の足を引っ張ってしまう」ということで心配しているのであれば、自分のレベルにあっている部活動を選びましょう。ただし、最初はみんな同じです。心配はいらないと私は思います。

③ 友だちの意見より、自分の興味や感覚を大切に

「仲のいい友だちと同じ部活にする」という決め方は、結局その部活の活動内容に興味を持てず、長続きしない可能性があるのも、あまりおすすめはできません。自分自身が「やってみたい」と思える部活を見つけてください。最初は友だちがいなくても、部活に入れば必ず友だちができるはずなので、心配はいりませんよ。ただし、「どの部活にもあまり興味もてないけれど、どこかの部活には入ってみたい」という場合には、友だちに相談をしてみるのもひとつの方法です。それをきっかけに、自分の新たな目標や才能に気づけるケースもあるはずですよ。

④ 迷ったら家族に相談してみよう

それでもどうしても決められないときは、家族に相談してみるのもいいでしょう。親や兄弟は、皆さんの性格などを知ったうえで、客観的にアドバイスをくれるはずですよ。中学生を経験した兄さんや姉さんがいるなら、迷っている部活について、先輩目線での詳しい意見を聞くこともできるでしょう。

最後に、目上の方々に対するマナーや礼儀、一緒に物事に取り組むことで生まれる友情、感受性や体力アップなど、部活から得られるのは貴重なものばかり。部活がいい思い出のひとつになることも間違いありません。ぜひ自分に合う部活を決めて、中学校生活をよりいっそう楽しいものにしてくださいね！